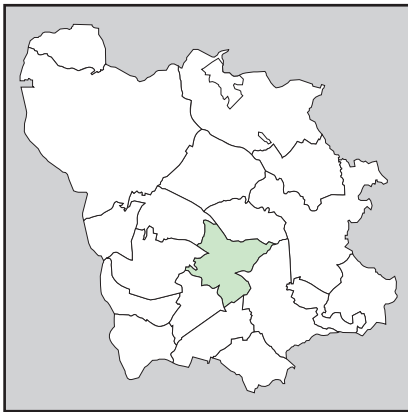


二俣川地区



二俣川地区は、二俣川駅、保土ヶ谷バイパス本村インターがあり、交通の要衝です。

区民文化センターや行政サービスコーナーをはじめ、県の公共施設（運転免許試験場、がんセンターなど）や商業施設が集積しています。



実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、およその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。

背景図：横浜市都市計画基礎調査

地区担当：万騎が原地域ケアプラザ

地域の福祉保健施設

子ども

保育園

- ① 明德二俣川保育園

放課後児童クラブ(学童保育)

- ② 二俣川地区学童保育
学童クラブ くれよん

地域子育て支援拠点

- ③ ひなたぼっこ

障害

- ① 神奈川県ライトセンター

機能強化型

障害者地域活動ホーム

- ② 障害者地域活動ホーム
ふたまたがわ

中途障害者地域活動センター

- ③ フェニックス旭
- ④ 工房 アリアーレ

障害福祉サービス事業所 (日中活動)

- ⑤ 第三空とぶくじら社
- ⑥ くるみの木

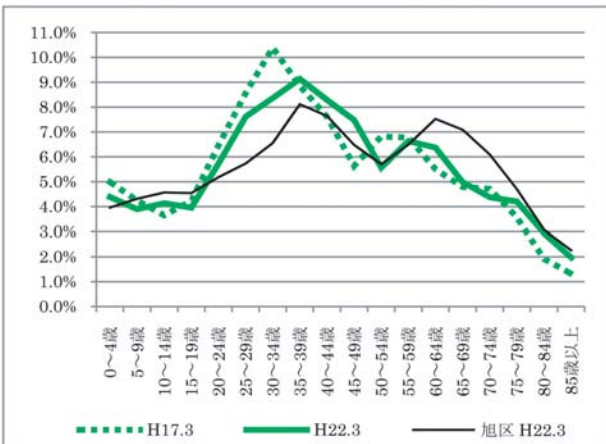
身体・知的障害者地域作業所 小規模通所授産施設

- ⑦ おべんとうばこ
- ⑧ ふらんすぱん

【地区周辺の地形】



【総人口に対する5歳階級別人口の割合】



※人口データは町丁目単位までしか集計されていないため、一つの町丁目が複数の地区にまたがっている場合は、所属面積の大きい地区に含めて作成しています。したがって、上記データは地域の概況を把握するための参考としてお取り扱い下さい。

地区データに見る特徴

- ・二俣川駅周辺の相鉄本線と厚木街道を軸とする地域で、町丁目ごとにそれぞれ一まとまりの丘陵単位から成っています。
- ・旭区全体の人口分布と比較して、20歳～50歳の人口比率が高く、それ以下と以上の年齢が共に低くなっています。
- ・総人口はほぼ横ばいですが、年齢区分別に見ると、年少人口と生産年齢人口はやや減少に対して、高齢者人口は12.7%増加しましたが、高齢化率は18.5%と区平均と比べて比較的低い数字です。
- ・また、75歳以上の人口は1,537人であり、総人口に対する割合は9.3%となっています。

【世帯数及び人口】

	H17.3 (総数比)	H22.3 (総数比)	H17-22 増減比率
総世帯数	7,607 世帯	7,921 世帯	+4.1%
総人口	16,958 人	16,864 人	-0.6%
0~14歳 (内、0~6歳)	2,182 人 (12.9%)	2,092 人 (12.4%)	-4.1%
15~64歳	12,012 人 (70.8%)	11,658 人 (69.1%)	-2.9%
65歳以上	2,764 人 (16.3%)	3,114 人 (18.5%)	+12.7%

住民基本台帳及び外国人登録人口合計 (二俣川一丁目・二丁目、中沢一丁目、本村町)

二俣川地区の活動情報

(平成22年9月末現在)

「二俣川地区地域ケア桐の会」

高齢者を対象に要介護者宅に(掃除、洗濯、買い物、除草、樹木剪定、病院送迎等)のボランティア活動を行っています。

子育て地域サロン

「ピョピョクラブ」

毎月第3水曜日
時間：10:00～
場所：本村スポーツ会館

親子で気軽に集い、交流する場です。

食事サービス

「はなみずきの会」

毎月第4日曜日
時間：12:00～
場所：障害者地域活動ホーム
ふたまたがわ

高齢者等を対象に、給食会、配食などを行っています。

「いきいき体操」

毎月第4日曜日
時間：10:00～
場所：本村スポーツ会館

軽い体操で、いつまでも元気な体づくりを行っています。

地域リハビリ教室

「ひまわり会」

毎月第2木曜日
時間：14:00～
場所：障害者地域活動ホーム
ふたまたがわ

脳血管疾患等で中途障害がある方が集まり機能訓練や交流をする場です。



はなみずきの会

中途障害者の軽リハビリ活動

毎週月～金曜日
時間：10:00～15:30
場所：フェニックス旭

脳梗塞などにより後遺症をもつ中途障害者の方向けにリハビリなどを通して生活の支援を行っています。

地域子育て支援拠点

「ひなたぼっこ」の子育て広場

毎週月～土曜日
時間：9:30～16:00

子どもと保護者が安心して過ごせる場・交流できる場を提供しています。

- ・地域には他にも様々な活動があります

- ・活動についてのお問合せは、万騎が原地域ケアプラザ 旭区社会福祉協議会へお気軽にどうぞ。

活動の振り返り

● 地域の交流

- 健民祭や夏まつりなどのイベントを通して、地域のつながりが育まれています。
- 学校の行事への参加は、地域共同体の連携をより深めることにつながっています。
 - ・夏まつり（盆踊り）
 - ・健民祭（連合自治会の運動会）
 - ・親子ふれあい餅つき大会
 - ・紙ヒコーキ大会
 - ・大縄跳び大会
 - ・クリーンキャンペーン などの世代をこえた行事



(親子ふれあい餅つき大会)

● 地域の見守り

- 一人暮らしのお年寄りや障害のある方などが地域でとじこもることがないように、地域で様々な活動の工夫がなされています。
- 見守りの活動は今後もますます期待されます。
 - ・ひとり暮らし食事会
 - ・敬老のお祝い
 - ・「桐の会」の日常生活支援ボランティア
 - ・外出支援
 - ・中途障害の方のふれあいデー
 - ・障害者地域活動ホームでの軽作業や「まったり祭」 など



(慰安会)

● 子育て支援

- 乳幼児の遊びの場の提供のほか、母親たちが子育てについて語り合う交流の場になっています。
 - ・子育てサロン
 - ・赤ちゃん教室
 - ・「ひなたぼっこ」による子育て広場 など



(ピヨピヨクラブ)

● 健康づくり

- いつまでも元気で生活していくために、仲間と運動に取り組むことで、健康づくりの場になっています。
 - ・いきいき体操
 - ・グラウンドゴルフ大会
 - ・早朝ラジオ体操 など



(いきいき体操)

● 安全・安心のまちづくり

- 防犯パトロールに一人暮らしのお年寄りなどの参加があることで、まちの安全を高めるだけでなく、自然に見守りにつながっています。
 - ・防犯モデル地区パトロール
 - ・小学校下校時見守り
 - ・各町内会自治会防犯パトロール
 - ・防災訓練 など



(防犯モデル地区パトロール)

地区での検討

第二期旭区地域福祉保健計画の策定にあたり、二俣川地区では、連合自治会と地区社会福祉協議会を中心に、地域で福祉保健活動を行っている様々な団体や、旭区福祉保健センター、旭区社会福祉協議会、万騎が原地域ケアプラザが参加し、二俣川地区としては初めて地域福祉保健計画を策定しました。

策定にあたっては、委員の皆さんにアンケートをとり、各自治会町内会や団体の取り組みや課題、今後の期待など、地域の活動状況の把握と共有につとめました。



地区の課題（話し合いの中から）

- ・震災時避難場所の運営等は小中学校区が基礎単位となっているが、自治会町内会を中心とした地域割りとは異なるため、いざ地域で取組を考えようとするときに大きな妨げとなっている。
- ・地域で何か取組をしようとしても、個人情報保護の壁などがあり、なかなか情報の共有がすすまない。
- ・活動のPRが不足していたり、地域の中でお互いどんなことに取り組んでいたか知らず、情報の共有やPR活動が必要。
- ・65歳以上は“高齢者”とくくるのではなく、支援ができる人・支援が必要な人と考えて、支えあいと担い手づくりにつなげていくことが大切ではないか。

計画の目標と具体的な取り組み

安心して暮らせる地域づくりの10項目

- あいさつ運動など、地域で顔と顔のみえる関係づくりをすすめる
- 地域の様々な団体が接点をもって、横につながる
- 世代をこえた交流の機会をふやす
- 高齢者が気軽に立ち寄れるサロンのような場づくりをすすめる
- 子ども・子育てを見守る地域のネットワークづくりをすすめる
- 障害のある方の把握や、地域との交流をすすめる
- 地域への関心を高め、ボランティア活動や地域の担い手につながる人づくりをすすめる
- 地域でのきめ細かな支援に向けて、自治会や地区社協などによる高齢者の情報把握をすすめる
- 災害時の要援護の方への支援体制づくりをすすめる
- 活動のPRや的確な情報提供をすすめる